

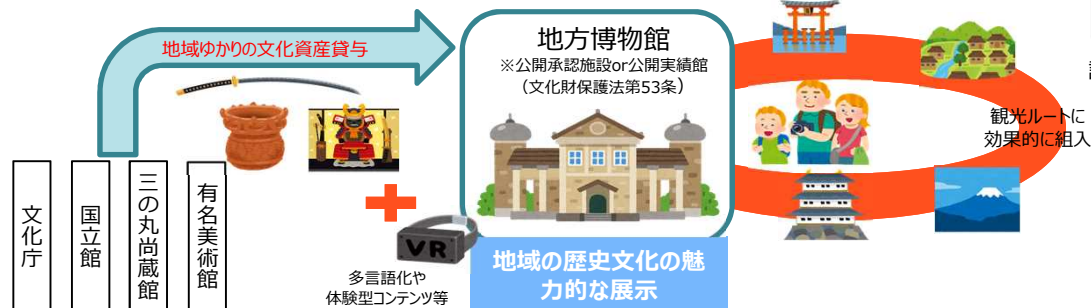
「地域ゆかりの文化資産」地方展開促進事業

日本博を契機として、「地域ゆかりの文化資産」の貸与を受け、地域の歴史・文化・風土を魅力的に展示・解説する地方博物館の意欲的な取組を支援し、訪日外国人観光客の増加や消費の拡大、満足度の向上を促し、地域活性化の好循環の創出を図る。

地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業（補助事業）

- 地方博物館が自らの所蔵品を活かしつつ、文化庁・国立館・三の丸尚蔵館・有名美術館等が有する当該地域にゆかりのある文化資産の貸与を受けて実施する、地域の歴史・文化・風土等をテーマとした展示活動（常設展や企画展）について、貸与に係る費用（輸送費、保険料等）や企画展示、広告宣伝等に係る費用を補助。

- また、訪日外国人観光客にも分かりやすい多言語解説の作成や製作したレプリカ等を使用した体験型展示等の観光消費を促す新たな消費体験等の創出に取り組む事業に対して支援。



<p>禅宗の導入と新たな文化の摂取</p> <p>中国で成立した禅宗が日本に系統的に伝わるのは、鎌倉の武士たちが中国の禅僧を招き、興隆に中国式の禅堂を建てて禅を伝授したことに始まる。その際、禅宗は、国々の高僧でも実業者や貴族に支持され、14世紀には、国々の山と呼ばれる中興寺院の多くが京都に建てられました。禅宗は、東渡した中国人僧侶と、中国に留学した多数の日本人僧侶によって導入されましたが、それにもなつて中国からもたらされた新しい文化が、水墨画、墨蹟(禅僧の書)、茶室(茶を飲むこと)です。</p>	<p>The Introduction of Zen to Japan</p> <p>In the 13th century, Zen was brought to Japan in its entirety. The warriors who ruled Japan were the first great patrons of this religion. They invited monks from China to establish Zen temples in Kamakura, the seat of the warrior's domain (shogunate) of present-day Tokyo. Later the imperial court and aristocracy in Kyoto also began to support Zen. In the 14th century, many important temples that still function as centers of Zen practice today were established in Kyoto. In addition to invited Chinese monks, Japanese monks who studied in China also brought Zen teachings and new cultural practices to Japan. These practices included ink painting and Zen calligraphy which were presented in the gallery, as well as tea drinking.</p>
<p>導入禅宗と観光文化</p> <p>日本文化は、中国から多くの文化を輸入し、独自の発展を遂げた。その一つとして、禅宗がもたらした文化が、日本文化の一部として受け入れられた。禅宗の導入は、鎌倉時代から始まり、室町時代には、禅宗の文化が、日本文化の一部として受け入れられた。禅宗の導入は、日本文化の一部として受け入れられた。禅宗の導入は、日本文化の一部として受け入れられた。</p>	<p>多言語対応と効果的な活用</p> <p>訪日外国人観光客の増加に伴い、多言語対応の展示や解説が求められています。本展示では、多言語対応の展示や解説を提供し、訪日外国人観光客の満足度を向上させ、消費の拡大を図ります。また、体験型展示やレプリカ等を活用し、観光消費を促す新たな消費体験の創出に取り組む事業に対して支援を行います。</p>

訪日外国人観光客にも分かりやすい多言語解説

日本文化体験
EXPERIENCE JAPANESE CULTURE
日本のよろい!
Samurai Mania!
Explore Japanese Armor at TNM

外国人等に「日本文化」の鑑賞・体験の場を提供

先端技術を活用した文化資産コンテンツ制作プロジェクト委託事業（委託事業）

- 文化庁、国立博物館等が有する文化資産について、高精細レプリカやVR・MR・AR、高精細画像等の先端技術を活用した体験型コンテンツを制作。制作したコンテンツを地方博物館へと貸与し、地方への誘客や消費の拡大を促進する。



先端映像技術を活かした体験型の展示



高精細レプリカを活用したハンズオン展示

令和2年度 地方ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業 実施例

徳川美術館・名古屋市蓬左文庫

三の丸尚蔵館所蔵の「源氏物語図屏風」等の貸与を受け、源氏物語の文化史をたどる展覧会を実施

徳川美術館は、徳川家康の遺品を中心に尾張徳川家に代々伝わる大名道具を収めているが、国宝「源氏物語絵巻」を所蔵する美術館としても知られている。本年は、「源氏物語」の著者「紫式部」の日記を主題とした国宝「紫式部日記絵巻」を五島美術館から借用するとともに、三の丸尚蔵館所蔵の「源氏物語図屏風」の貸与を受けることで、源氏物語が日本文化に及ぼした影響について示す展示会を企画。



伝岩佐又兵衛筆「源氏物語図屏風」
(三の丸尚蔵館蔵)



狩野永岳筆「源氏物語図屏風」
(三の丸尚蔵館蔵)



- 訪日外国人を意識した、外国人目線のストーリー、多言語解説を作成。
- 尾張徳川家伝来の遺品を併せて展示することで、名古屋の魅力を発信。

企画名 企画展「読み継がれた源氏物語」

開催期間 2020年11月8日～12月13日

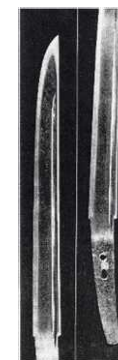
北九州市立自然史・歴史博物館

国の重要文化財である粟田口吉光の短刀「博多藤四郎」をゆかりの地である北九州市で初公開。

福岡藩2代藩主黒田忠之が、小倉藩初代藩主小笠原忠真に贈った粟田口吉光の短刀「博多藤四郎」を軸として、福岡藩（黒田家）と小倉藩（小笠原家）を中心に、「戦国」を勝ち残ったカリスマ的な初代藩主の跡を継いだ2代目藩主が「ポスト戦国」の様々な課題をどのように解決し、藩政を確立したのか明らかにするとともに、刀という武具の特性と多様な意味・役割を検証し、武士のあり方とその変化を明らかにする展示を企画。



短刀銘「吉光」（「博多藤四郎」）
(文化庁蔵)



短刀銘「吉光」
(三の丸尚蔵館蔵)

- ギャラリートークの翻訳字幕入り動画を配信するなど、多言語解説を作成。
- 刀という武具の特性と多様な意味・役割を検証し、武士のあり方とその変化を発信。

企画名 文化財刀剣を活用した地域の歴史と日本文化の紹介のための特別展開催事業

開催期間 2021年1月2日～2月14日

令和2年度 地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業一覧

No.	申請者名	事業名	展覧会期間	展覧会場所
1	公益財団法人茨城県教育財団	特別展Ⅱ「鋼と色金－茨城の刀剣と刀装－」展覧会事業	令和3年2月20日～4月11日	茨城県立歴史館
2	古河歴史博物館	古河ゆかりの文化資産を活用した「国宝参上。－鷹見泉石像と古河ゆかりの文化財－」展覧会事業	令和3年1月9日～2月7日	茨城県古河市立古河歴史博物館
3	神奈川県立歴史博物館	神奈川県立歴史博物館特別展「相模川流域のみほとけ」	令和2年10月10日～11月29日	神奈川県立歴史博物館
4	群馬県立歴史博物館	「新・すばらしい群馬のはにわ」展覧会開催事業	令和2年2月～3月	群馬県立歴史博物館
5	福井市	福井市立郷土歴史博物館秋季特別展「北陸の古刀」	令和2年10月10日～11月23日	福井市立郷土歴史博物館
6	飛騨市美術館	飛騨市美術館企画展「宮川、高原川の伝統漁法・魚食文化展～富山湾から遡上していた魚たち～」	令和2年7月4日～8月23日	飛騨市美術館
7	公益財団法人徳川黎明会徳川美術館	尾張徳川家ゆかりの『源氏物語』を活用した「読み継がれた源氏物語」展覧会事業	令和2年11月8日～12月13日	徳川美術館 名古屋市蓬左文庫
8	大津市	企画展「聖衆来迎寺と盛安寺—明智光秀ゆかりの下阪本の社寺—」	令和2年10月10日～11月23日	大津市歴史博物館
9	彦根市教育委員会事務局彦根城博物館	彦根ゆかりの文化資産を活用した特別展「幻の名窯 湖東焼－彦根藩窯の盛衰－」開催事業	令和2年10月23日～11月23日	彦根城博物館
10	京都府	丹後地域ゆかりの文化資産を活用した「国宝・雪舟筆天橋立図に描かれた丹後国分寺とその世界」展覧会事業	令和2年8月1日～12月13日	京都府立丹後郷土資料館
11	特別展「天平礼賛」実行委員会	大阪・奈良を中心とする関西地域ゆかりの文化資産を活用した「天平礼賛」展覧会事業	令和2年10月27日～12月13日	大阪・大阪市立美術館
12	松江市	松江ゆかりの文化資産を活用した「NARITAKE 松江藩主松平斉貴」展覧会事業	令和2年9月18日～11月15日	松江歴史館
13	島根県	企画展「菊竹清訓 山陰と建築」	令和3年1月22日～3月22日	島根県立美術館
14	博多藤四郎展実行委員会	文化財刀剣を活用した地域の歴史と日本文化の紹介のための特別展開催事業	令和3年1月2日～2月14日	北九州市立自然史・歴史博物館
15	長崎県	長崎歴史文化博物館「長崎県ゆかりの歴史文化資産」多言語化事業	常時（休館日：毎月第3月曜日（祝日の場合は翌日））	長崎歴史文化博物館
16	熊本県立美術館	細川コレクション展覧会事業	第2期：令和2年7/18～9/22 第3期：令和2年10/3～12/13 代替展：令和2年9/18～11/8	熊本県立美術館本館別棟展示室
17	公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団	大分県立美術館 開館5周年記念事業びじゅチューン！×OPAM なりきり美術館	令和3年2月19日～3月31日 ※令和3年度も継続開催、5月9日（日）まで	大分県立美術館
18	宮崎県	発見・驚き・感動！西都原考古博物館魅力向上事業	令和2年10月3日～12月6日	宮崎県立西都原考古博物館